



# 歯周病治療の臨床

## 疾患改善のキモは歯科医師にアリ!

### 編集委員

飯野 文彦(東京都・いいの歯科医院)

大八木孝昌(神奈川県・歯科おおよぎ)

## 歯周病治療の基礎を見落とすな!

“日本人の8割が罹患している”ともいわれる歯周病だが、近年の歯周病治療は急速に進歩を遂げた。しかし、基礎を見落とした歯周病治療が行われてしまい、なかなか改善がみられない場合や、治療を歯科衛生士に任せっきりにして、歯科医師がほとんど治療にかかわらない場合も多いようである。本増刊号では、歯周病を治すには何が必要なのか、治療の基礎を見直し、歯科医師がおさえておくべきポイントを解説する。



A4判変型・176頁・オールカラー  
本体5,000円+税

### CONTENTS

#### 序章 歯周病原性細菌と免疫

- 1 歯周病をどう捉えるか? 落合邦康

#### 第1章 歯周基本治療

- 1 プラークコントロール 飯野文彦  
2 ルートプレーニングに必要な知識  
——歯と歯周組織の解剖学 江澤庸博  
3 歯周病治療を主軸に置いた院内システム 稲垣伸彦  
4 歯周病治療における咬合調整 大八木孝昌  
5 歯周病治療におけるデンタルX線とその読像 若松尚吾

#### 第2章 歯周外科処置

- 1 歯周組織再生療法におけるフラップデザイン 安藤 修  
2 再生療法材料の選択 二階堂雅彦  
3 ソフトティッシュマネジメント 中村茂人  
4 切除療法と組織付着療法 安藤正明

#### 第3章 歯周病と全身疾患

- 1 歯周病が全身を蝕む 安田直正 他

#### 第4章 咬合治療

- 1 歯周病における咬合治療 川口 敦  
2 歯周・矯正治療 土岡弘明  
3 歯周・インプラント治療 吉野宏幸  
4 咬合崩壊を伴う歯周病治療 鎌田征之

#### 第5章 SPT・メンテナンス

- 1 メンテナンスの目的とは  
——歯科衛生士の立場から 南 香織  
2 歯周病患者の補綴物製作  
——歯科技工士の立場から 津久井貴光  
3 患者が主役のSPT・メンテナンス  
——歯科医師の立場から 吉村英則